

Windows 2000/Windows NT 4.0 プリンタドライバガイド

本書は、Windows 2000/Windows NT4.0 用プリンタドライバの基本的な使用方法を説明しています。

お断り
E1本書で使用する画面は、BJ F300用です。その他の機種では若干表示が異なりますのでご了承ください。
E2Windows 2000とWindows NT4.0では、機能の数が異なるため設定画面のデザインが異なります。本書では、一部を除いて、Windows 2000での画面を例として使用しています。

V2.0

目次

設定画面を開く ...3

アプリケーションソフトから開く	3
単独で開く	4

基本的な印刷設定を行う ...5

[基本設定]シートの項目を設定する	5
プリントアダプターで設定する	6
用紙サイズと印刷方向の設定について	7

各画面の説明 ...8

[基本設定]シート	8
[ページ設定]シート	8
[特殊効果]シート	8
[お気に入り]シート	9
[ユーティリティ]シート	9

ヘルプを見る ...10

設定項目の説明を見る	10
操作説明を見る	10

設定画面を閉じる ...11

印刷設定を完了する	11
-----------------	----

BJ ステータスマニタの機能 ...12

BJ ステータスマニタを開く	12
画面の説明	13
BJ ステータスマニタを終了する	13

設定画面を開く

プリンタドライバの設定画面（プリンタのプロパティ）は、印刷設定をするときや、クリーニングなどのメンテナンス操作を行うときに開きます。開く方法は2通りあります。

1 アプリケーションソフトから開く


通常はこの方法で開き、印刷設定を行います。

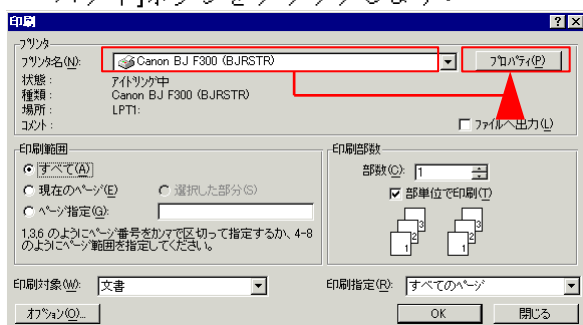
【操作】

1 Dアプリケーションソフトで印刷を実行するメニューを選択します。

一般的には[ファイル]メニューから[印刷]を選択して、[印刷]ダイアログボックスを表示します。

2 D [プリンタ名] がお使いの機種名になっていることを確認します。別のプリンタ

が表示されている場合は  をクリックし、一覧から選択します。続いて、[プロパティ] ボタンをクリックします。



プロパティ画面が開きます。



【参考】

アプリケーションソフトによっては別のメニュー名であったり、もっと手順が多くなる場合があります。お使いのアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

1 単独で開く

アプリケーションソフトを開いていないときに、クリーニングなどのメンテナンス機能を実行したいときや、すべてのアプリケーションソフトに共通する印刷設定をしたいときは、この方法で開きます。

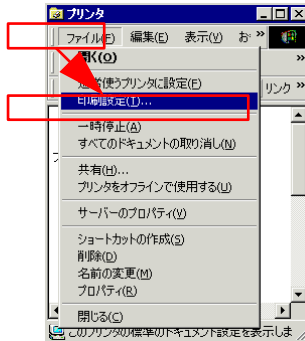
【操作】

- 1D [スタート] ボタンをクリックし、[設定]、[プリンタ] を選択します。
- 2D お使いの機種名のアイコンを選択します。

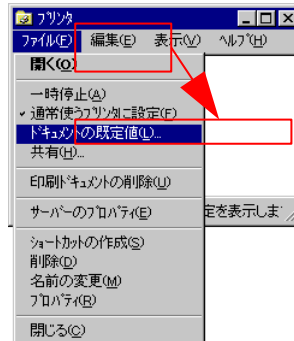


- 3D [ファイル]メニューから、Windows 2000 の場合は[印刷設定]、Windows NT 4.0 の場合は、[ドキュメントの既定値] を選択します。

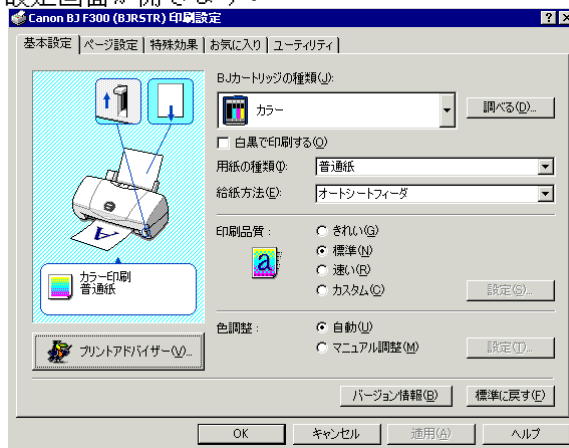
Windows 2000 の場合



Windows NT4.0 の場合



設定画面が開きます。



【参考】

アプリケーションソフトから開いたときは、設定画面のタイトルバーには [BJXXXX (プリンタ機種名) のプロパティ] と表示されますが、単独で開いた場合、Windows 2000 では [BJXXXX (プリンタ機種名) 印刷設定]、Windows NT4.0 では [BJXXXX (プリンタ機種名) の既定] と表示されます。

基本的な印刷設定を行う

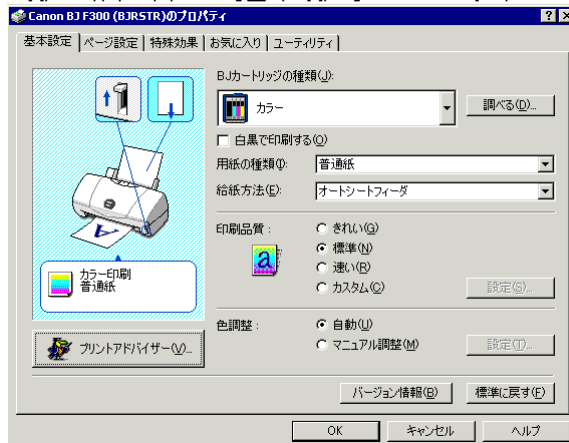
プリンタにセットしている BJ カートリッジや用紙の種類に設定を合わせることで、その特長を生かした印刷ができるようになります。印刷設定の方法は 2 通りあります。お好みの方法で行ってください。

1 [基本設定]シートの項目を設定する

プリンタにセットしたものに合わせて、ひとつひとつ設定していく方法です。

【操作】

1 D 設定画面を開き、[基本設定]シートを表示します。



2 D [BJ カートリッジの種類]を一覧から選択します（機種によってはこの設定はありません）。

【参考】

プリンタに取り付けている BJ カートリッジを調べたいときは、プリンタの電源がオンになっていることを確認して、[調べる...]をクリックします。検出された BJ カートリッジに [BJ カートリッジの種類]の設定を合わせることができます。

3 D [用紙の種類]を一覧から選択します。

4 D 必要に応じて、[給紙方法]を選択します。

5 D [印刷品質]を[きれい]、[標準]、[速い]の中から、お好みのものを選択します。

【参考】

[カスタム]を選択すると、印刷品質とハーフトーンの表現方法を組み合わせて、より詳細な設定を行うことができます。

6 D [色調整]は[自動]のままかまいません。

【参考】

[マニュアル色調整]を選択すると、色の調整をより詳細に設定できます。

以上で基本的な印刷設定は完了です。

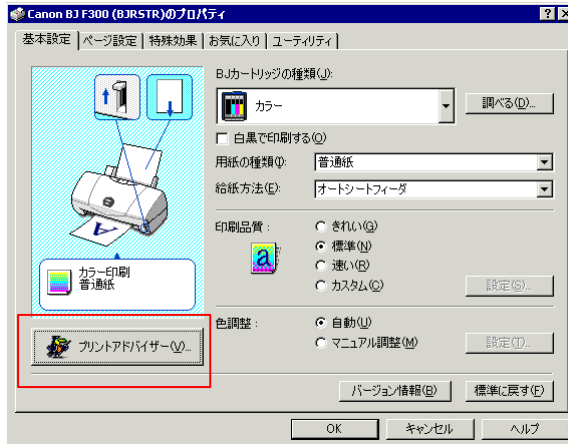
1 プリントアドバイザーで設定する

プリントアドバイザーを使うとより簡単に印刷設定を行うことができます。質問にすべて答えると、プリンタドライバの設定は自動的に適切なものに変更されます。

【操作】

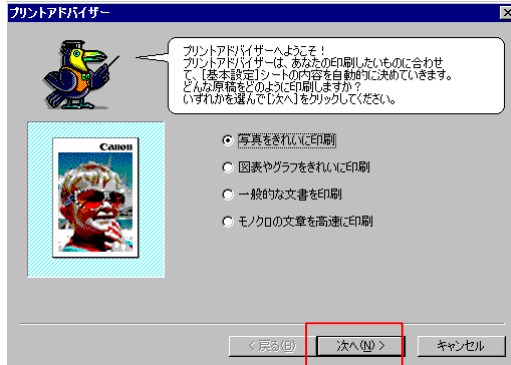
1 D設定画面を開き、[基本設定]シートを表示します。

2 D[プリントアドバイザー...]をクリックします。



プリントアドバイザーが起動します。

3 D吹き出しの質問を読んで必要なものを選択し、[次へ]をクリックしていきます。



4 D最後の画面で[完了]をクリックします。

プリントアドバイザーが終了したあとは、[基本設定]シート等の設定は適切なものに変更されていますので、何もする必要はありません。

以上でプリントアドバイザーを使用した印刷設定は完了です。

1 用紙サイズと印刷方向の設定について

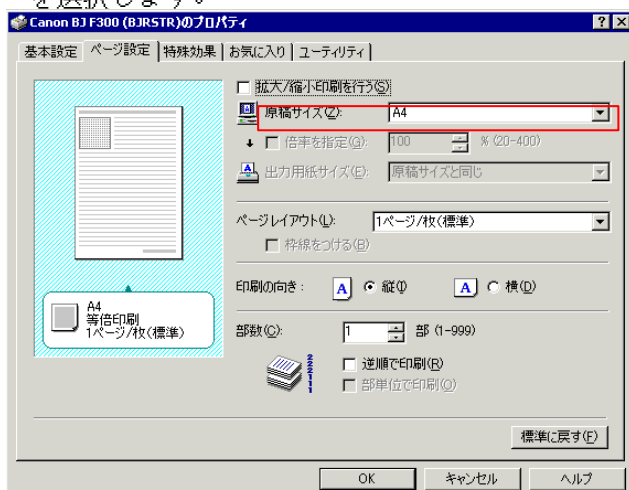
プリンタにセットする用紙のサイズに設定が合っていないと、イメージ通りの印刷結果になりません。

用紙サイズと印刷方向の設定は通常、原稿を作成するアプリケーションソフトで設定します。プリンタドライバの設定はアプリケーションソフトと同じになっていれば、問題ありません。確認するには、次の手順で行ってください。

【操作】

1 D [ページ設定] タブをクリックします。

2 D [原稿サイズ] の設定がアプリケーションソフトで設定したものと同一であることを確認します。違う場合は、▼をクリックして、一覧から目的のサイズを選択します。



3 D [印刷の向き] の設定がアプリケーションソフトで設定したものと同一であることを確認します。

【参考】

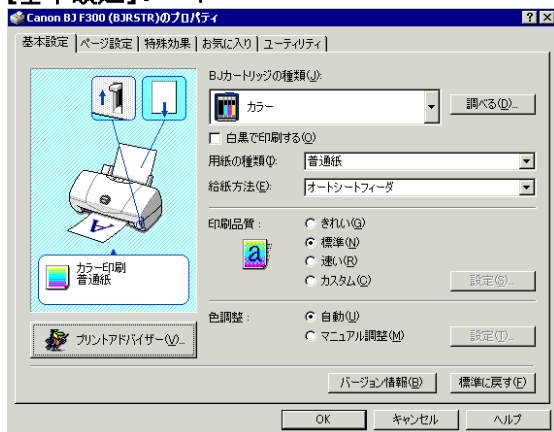
E1 非定型のサイズを使用する場合は、[原稿サイズ] の一覧で [ユーザー定義用紙...] を選択すると、幅と長さを指定することができます。

E2 Windows NT4.0 では [ページ設定] シートに、[ページレイアウト]、[罫線をつける]、[逆順で印刷]、[部単位で印刷] はありません。

各画面の説明

プリンタドライバの設定画面は全部で5枚のシートで構成されています。それぞれの画面でできることを簡単に紹介します。

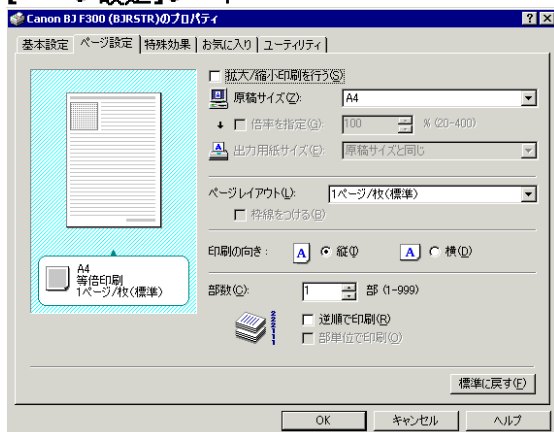
[基本設定]シート



プリンタにセットされている B/C カートリッジや用紙に合わせて設定します。特別な印刷を行わない限り、このシートを設定すれば、きれいな印刷結果を得ることができます。

→基本的な印刷設定を行う P.5

[ページ設定]シート



原稿サイズ(用紙サイズ)、印刷方向の設定はアプリケーションソフトで行った設定に合わせます。

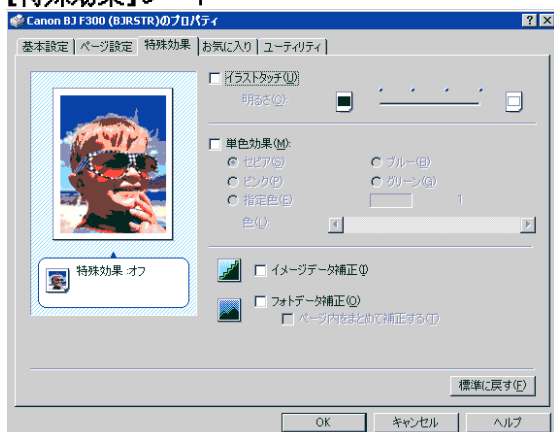
→用紙サイズと印刷方向の設定について P.7

拡大/縮小印刷や部数の設定も行うことができます。

これらの機能の詳細は、設定画面上で見るヘルプの説明を参照してください。

→ヘルプを見る P.10

[特殊効果]シート



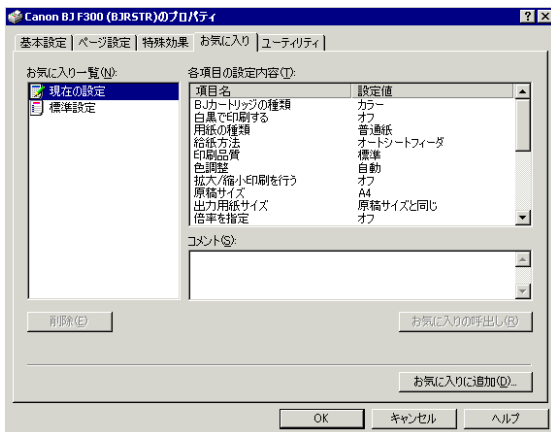
原稿に特殊な効果を与えるための機能を選択できます。

機能の詳細は、設定画面上で見るヘルプの説明を参照してください。

→ヘルプを見る P.10

[お気に入り]シート

[基本設定]、[ページ設定]、[特殊効果]シートの設定内容に名称をつけて保存することができます。よく使用する設定を保存すると、各設定内容を簡単に呼び出すことができます。



不要になった設定は削除することもできます。

各機能の詳細は、設定画面上で見るヘルプの説明を参照してください。

→ヘルプを見る P.10

【ユーティリティ】シート



プリンタのメンテナンス機能や特殊な機能を実行できます。

機能は機種によって違いがあります。

各機能の詳細は、設定画面上で見るヘルプの説明を参照してください。

→ヘルプを見る P.10


注：

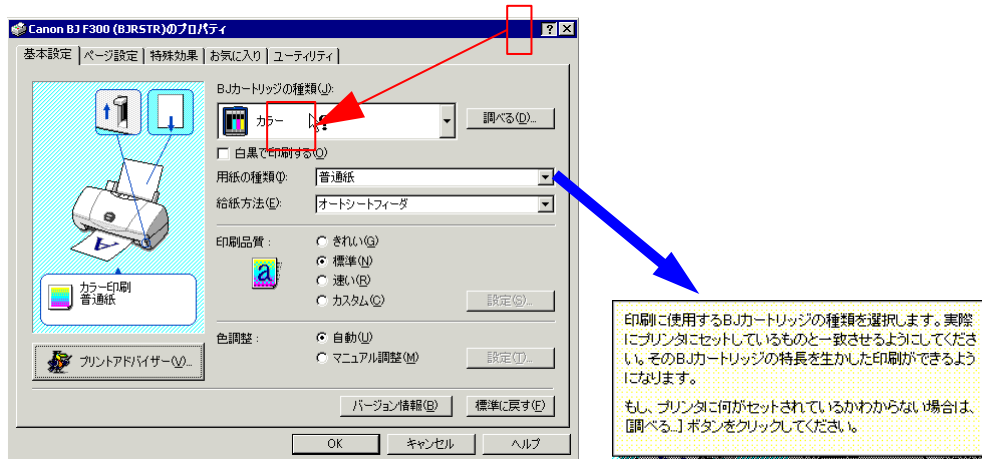
アプリケーションソフトから開いた場合は、一部アイコンがグレーアウトして使用できないことがあります。この場合は、単独で開く方法(→P.4)で設定画面を開き直してから選択してください。

ヘルプを見る

ヘルプを表示すると、設定画面を開いた状態で、操作のしかたや、設定項目の説明を読むことができます。

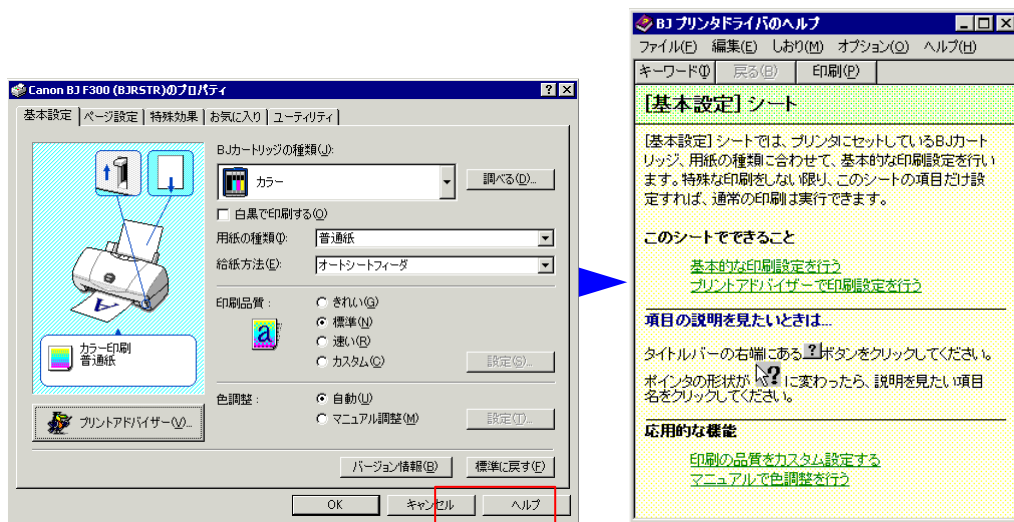
1 設定項目の説明を見る

設定画面右上にある「？」をクリックするとポインタの形が  に変わります。この状態で説明を見たい項目にポインタを合わせてクリックします。



■操作説明を見る

設定画面下部にある「ヘルプ」をクリックすると別ウィンドウが開き、表示されているシートでできる設定を参照できます。目的のものをクリックすると、その操作手順を参照できます。



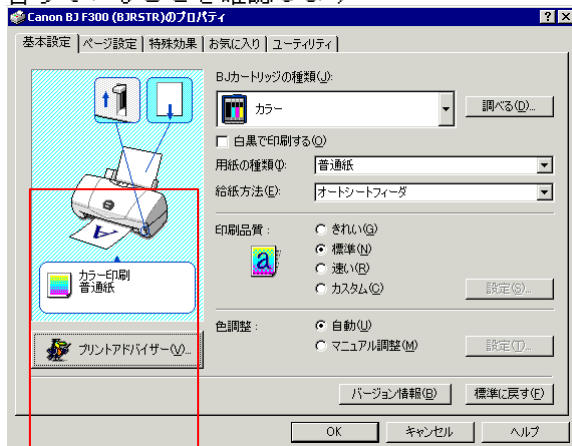
設定画面を閉じる

プリンタドライバでの設定がすべて終わったら、設定画面を閉じて印刷を実行します。

1印刷設定を完了する

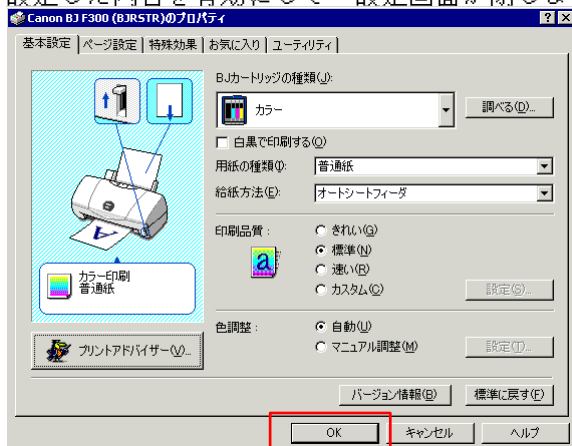
【操作】

1 Dプリンタ操作のプレビュー画面を見て、プリンタのレバー位置や用紙のセットのしかたが合っていることを確認します。



2. [OK] ボタンをクリックします。

設定した内容を有効にして、設定画面が閉じます。



アプリケーションソフトの[印刷]ダイアログボックスで印刷を実行します。

【参考】

E1設定内容を無効にしたいときは、[キャンセル]をクリックしてください。

E2設定内容を工場出荷時の設定(標準設定)に戻したいときは、各シートで[標準に戻す]をクリックしてください。

E3[バージョン情報]をクリックすると、プリンタドライバのバージョンを確認できます。

Bj ステータスマニタの機能 (機種によっては、この機能は使えません)

Bj ステータスマニタを開くと、プリンタの状態を確認することができます。エラーが発生すると、その内容と対処方法を表示します。また、インク残量検知が可能な機種では、インクが残り少なくなると、警告を出して知らせます。

i1Bj ステータスマニタを開く

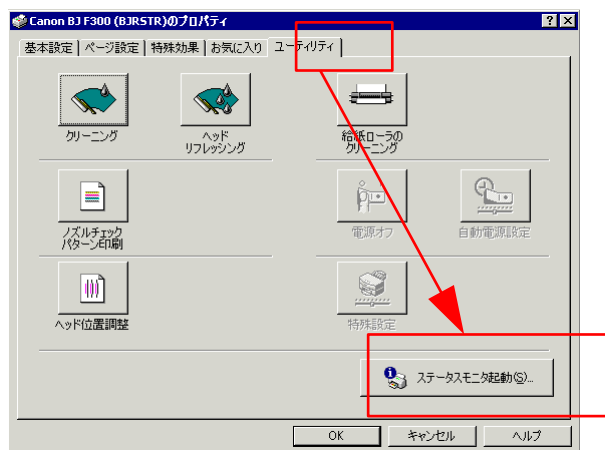
【印刷しているとき】

印刷データが送られてくると自動的に起動し、タスクバー上に最小化された状態になります。クリックすると、プリンタの状態や進行状況、搭載されているカートリッジの種類を確認できます。



【印刷していないとき】

設定画面の[ユーティリティ]タブをクリックし、[ステータスマニタ起動]をクリックします。

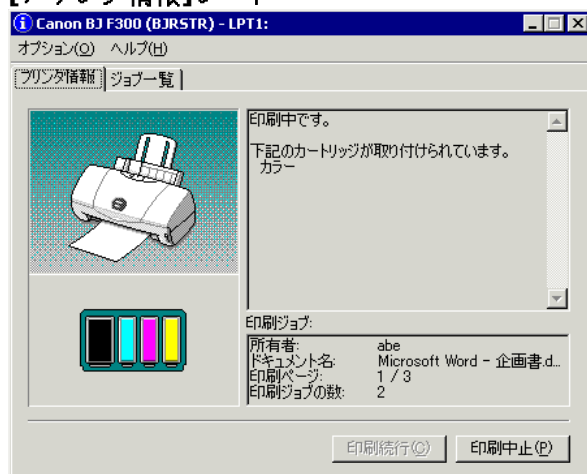


【参考】

Bj ステータスマニタを使用するには、Windows で双方向通信をサポートする設定になっている必要があります。

i1画面の説明

[プリンタ情報]シート



プリンタの状態や搭載されているカートリッジ種類を確認できます。
エラーが発生している場合は、説明を読んで必要な対処を行ってください。
インク残量検知機能がある機種では、インクが残り少なくなると「!を表示します。インクが完全になくなると、「✖」を表示します（バッテリーを使用する機種では、同様にバッテリーの残量も確認できます）。

[ジョブ一覧]シート




印刷を実行した文書についての情報を確認できます。
各項目の境界にマウスポインタを置いてドラッグすると、表示幅を広げたり縮めたりできます。

【参考】

各項目の詳細についてはヘルプの説明を参照してください。BJステータスマニタの[ヘルプ]メニューから[トピックの検索]を選択すると表示されます。

i1B) ステータスマニタを終了する

BJステータスマニタが開いている場合は、右上の  をクリックすると終了します。
また、タスクバーに最小化の状態でも常駐している場合は、右クリックして[閉じる]を選択します。